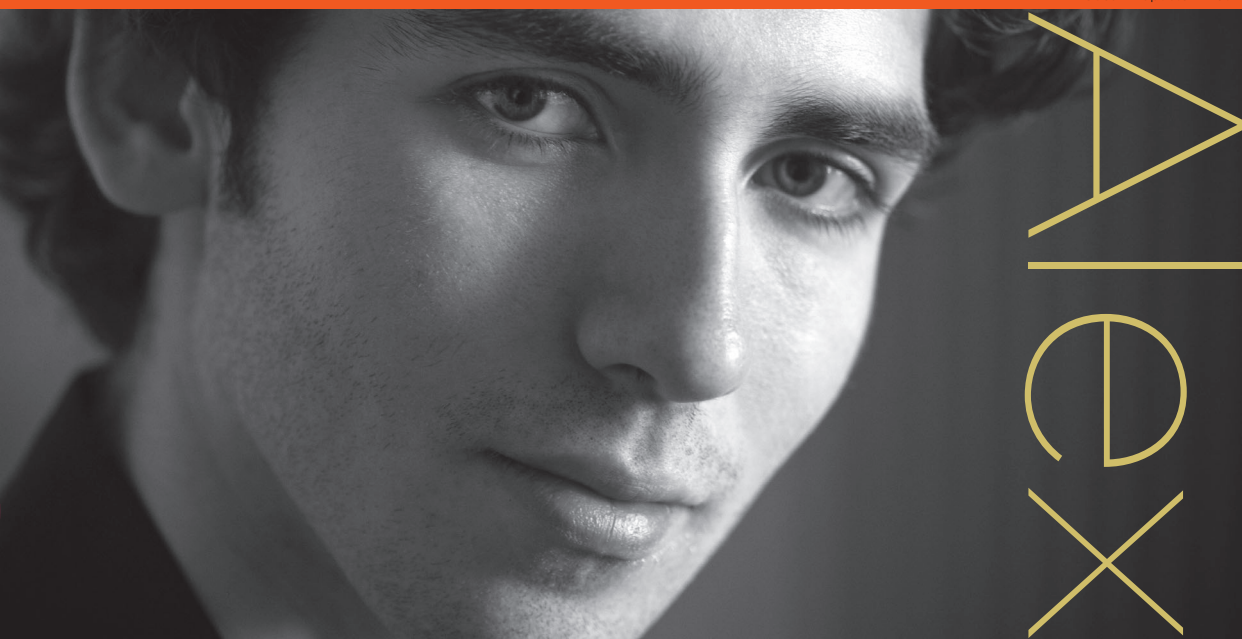


KANTO

アレクサンドル・カントロフ  
**Piano Recital**

ピアノ・リサイタル

©Jean-Baptiste Millot



ALEXANDRE

ROW

**11/16 (月) 19時**

東京オペラシティ コンサートホール

Monday, November 16, 2020 at 7 p.m. Tokyo Opera City Concert Hall

**11/17 (火) 19時**

ザ・シンフォニーホール

Tuesday, November 17, 2020 at 7 p.m. The Symphony Hall, Osaka

ブラームス: 4つのバラード op. 10

Brahms: 4 Ballades op. 10

ストラヴィンスキー(G.アゴ스티編): バレエ「火の鳥」組曲

Stravinsky (arr: Agosti): The Firebird Suite

フォーレ: ノクチュルヌ第6番 変ニ長調 op. 63

Faure: Nocturne No. 6 in D-flat major op. 63

ブラームス: ピアノ・ソナタ第3番 ヘ短調 op. 5

Brahms: Piano Sonata No. 3 in F minor op. 5

S¥6,000 A¥5,000 B¥4,000

プラチナ券¥11,000(11/16のみ)

主催: KAJIMOTO マネジメント: ザ・シンフォニーホール(11/17)



ANDRE

# 特別な音、独創的な表現。 みずみずしい若きピアノの魔力にふれる一夜

2019年にチャイコフスキー国際コンクール・ピアノ部門で優勝し、全部門のグランプリにも輝いた、アレクサンドル・カントロフ。彼が鳴らす生の音を一度味わえば、その魔力に取り憑かれてしまうのではないだろうか。

私がカントロフの演奏を初めて聴いたのは、チャイコフスキー国際コンクールの1次予選だった。当初、彼の父がかの著名なヴァイオリニストで指揮者のジャン=ジャック・カントロフだとは気づかず、なんの先入観もなく演奏に触れたのだが、ミステリアスで聴くものを覚醒させるような音に圧倒された。そして、次のステージでも聴きたいと強く願った。

その音のバリエーションの多さは圧倒的だ。澄んだ美しい音、気だるげで繊細な音。そしてなにより、ダイナミックなパートで鳴らされる、体の芯から揺さぶってくるような音は、おそろしいほどのインパクトを持つ。

優勝後、初めての来日リサイタルでは、そんなカントロフの多様な側面を聴くことのできるプログラムが用意されている。

ストラヴィンスキー「火の鳥」は、コンクールでも披露された作品。ライブ感にあふれ、ギリギリを攻めるような展開で聴衆を熱狂させた演奏が、再び蘇る。そして後半のメインに据えられたブラームスは、カントロフにとって、彼の心に触れる特別な作曲家だという。表情に富んだ重く豊かな音で、ブラームスの内なる世界を描写してくれるだろう。

独創的な音楽表現を、そしてなによりあの特別な音の質感を、ぜひ、会場で体験してほしい。

高坂 はる香 (音楽ライター)



## アレクサンドル・カントロフ(ピアノ) Alexandre Kantorow, *Piano*

“カントロフはリストの生まれ変わりだ。私は、彼のように楽器を操り、これらの作品を奏でるピアニストを他に知らない”

Jerry Dubins (『ファンファーレ』誌)

22歳で挑んだ2019年のチャイコフスキー国際コンクールにおいて、フランスのピアニストとして初めて優勝。

今やフランス・ピアノ界のホープとして定評のある彼は、早くに演奏活動を開始。16歳の時、ナントとワルシャワのラ・フォル・ジュルネ音楽祭から招かれシンフォニア・ヴァルソヴィアと共演して以来、数多くのオーケストラからソリストとして招かれており、とりわけゲルギエフ指揮マリンスキー劇場管弦楽団と定期的に共演を重ねている。

またアムステルダム・コンセルトヘボウ、ベルリンのコンツェルトハウス、フィラルモニー・ド・パリなどの一流ホールで演奏を披露し、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ハイデルベルク春の音楽祭などの著名な国際音楽祭に出演している。

録音では、デビュー・アルバム『A la russe』(BIS)が、クラシカ誌の年間最優秀シヨク賞に輝き、ディアパゾン誌、ピアノニュース誌の特薦盤に選ばれるなど、広く注目され高い評価を得た。BISレーベルからは、『リスト：ピアノ協奏曲集』、最新盤『サン=サーンス：ピアノ協奏曲第3・4・5番』(ディアパゾン・ドール賞と年間最優秀シヨク賞2019を受賞)も発表しており、今後はブラームス、バルトーク、リストの狂詩曲を集めたアルバムがリリースされる。

2019年、フランス仏批評家協会賞の年間最優秀新人音楽家部門を受賞。2020年には、先述のサン=サーンスの協奏曲アルバムで、フランスの最も権威ある音楽賞「ヴィクトワール・ド・ラ・ミュージク・クラシック」の2部門(年間最優秀録音部門/年間最優秀器楽ソリスト部門)を同時受賞するという快挙を成し遂げた。

## チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

[www.kajimotoeplus.com](http://www.kajimotoeplus.com)

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)

ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 185-411[11/16] 185-461[11/17])  
e+(イープラス) <http://eplus.jp/>  
CNプレイガイド 0570-08-9990  
ローソンチケット 0570-000-407  
東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999[11/16]  
ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(火曜定休)  
<https://www.symphonymusic.jp/> ※年中無休・24時間受付(メンテナンスの時間を除く) [11/17]

twitter @kajimoto\_News

facebook  
YouTube

“kajimotomusic”で検索!

@kajimotomusic



カジモト・イープラス

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

一般発売は当初の予定から延期しております。決まり次第弊社web等で発表させていただきます。

●お車で越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間割引制度がご利用いただけます。[11/16]  
●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。  
●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 TEL: 03-3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>